

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルリアルスポット相場は、中国経済の低迷(昨日公表の12月サービス部門購買担当者景気指数は17ヶ月ぶりの低水準を記録)や、北朝鮮による水爆実験に起因するグローバルな地政学リスクの高まりを嫌気し、取引序盤はリアル売りが先行。一時4.06台前半までリアル安が進行した。中国証券監督管理委員会(証監会)は、不安定な中国株式市場に対する投資家の不安を沈静すべく、企業の大株主による保有株売却に関して新たな制限措置を導入。大株主は保有株圧縮の15営業日前に売却計画を示すよう義務付けられる他、取引所を通じて3ヶ月間に売却できる当該企業の株式は1%に限定される。証監会が大株主を対象に昨年導入した6ヶ月間の保有株売却禁止の措置は今週8日に失効し、今回の新たな措置は9日から適用される。米国で公表された12月ADP民間部門雇用者数は前月比25.7万人増と、月間の伸びとしては2015年で最大を記録した。しかし、FRBが昨日公表したFOMC議事録(利上げを決定した12月15-16日開催分)が、予想よりもハト派な内容(12月利上げの判断は当局者にとって、「ギリギリ」であった)であったことから、ドル買いの動きは限定的に留まった。

世界銀行は6日、公表した報告書において、「2016年の世界経済は停滞する」との見通しを示した。中国の景気減速が商品相場安を長期化させる他、ブラジルとロシアでマイナス成長が続くと指摘している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	1月5日	1月6日	前日比	12月4日	1ヶ月前比
リアル	対ドル	BRL	4,0078	4,0294	+0,0216	3,7525	+0,2769
	対円	JPY	29,71	29,44	-0,27	32,80	-3,36
	対ユーロ	BRL	4,3046	4,3488	+0,0442	4,0800	+0,2688
円	対ドル	JPY	119,06	118,47	-0,5900	123,11	-4,6400
	対ユーロ	JPY	127,96	127,72	-0,24	133,96	-6,24
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	42.419	41.773	-646	45.361	-3.588
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	485,3	481,0	-4,3	445,8	+35,2
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	16,05	15,92	-0,13	15,58	+0,34
DI Future Apr17 (金利先物)		%	15,82	15,74	-0,08	15,91	-0,17
3 Months US Dollar Libor		%	0,617	0,617	+0,000	0,462	+0,155
CRB Index (国際商品指数)		Index	173,1	169,5	-3,6	183,2	-13,7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

